

	平成 25 年度 第 5 回 N P O 法人介護支援専門員協会鹿児島 理事会
日 時	平成 26 年 2 月 17 日 (月) 17 : 30 ~ 19 : 00
場 所	介護相談センター真砂本町
出席者	副 会 長 : 宇治野由美子、木場秀逸 常務理事 : 阿久根平 理 事 : 小湊珠子、佐藤三奈、新地一浩、上釜孝、高野大輔 監 事 : 下水流智和
欠席者	会 長 : 大勝洋祐 理 事 : 原田卓也、吉永とも子
内 容	<p>1. 会長挨拶 会長欠席にて省略</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 鹿児島市高齢者虐待防止ネットワーク協議会実務者会議について (1/16) (木場副会長報告)</p> <p>第 2 回実務者会議において、高齢者虐待死事案について鹿児島市より報告があり協議を行った。 養護者支援においては、介護疲れがあったのではないかと意見や虐待ケースへの対応として、頻回な訪問の必要があったのではないかと意見があった。 虐待のサインを見逃さない事、養護者の精神的な負担軽減への対応についてケアマネジャーとしても視点を持つておく必要がある。</p> <p>2) 鹿児島市高齢者虐待防止ネットワーク協議会代表者会議について (1/30) (木場副会長報告)</p> <p>井出之上健康福祉部長が開会を行い、虐待対応件数について報告がある。 養護者による虐待において、類型として身体的虐待に続き心理的虐待、経済的虐待の順番で多く、一昨年・昨年と件数に変化はない。虐待者との関係では息子よりの虐待が一番多いが、昨年に比べ妻より虐待を受ける件数が増加傾向であった。 施設従事者による虐待においては、施設職員からの通報から立ち入り調査を行い、文書による指導を行ったケースもあった。</p> <p>3) 第 2 回施設委員会研修会について (12/13)</p> <p>1. 日 時 平成 25 年 12 月 13 日 2. 参加者 36 名 (非会員 14 名) 3. 出席者 71 名</p> <p>研修会アンケート集計結果 参加者 36 名 回収 25 名 (回収率 69.4%) 【大変良かった : 9 名 良かった : 14 名 普通 : 2 名】 事例をもとにしてアセスメントからプラン作成までの過程において、KJ 法を用いてグループワークを行う事で、本人らしいケアプランの作成の視点を持つ事が出来る研修となった。</p> <p>4) 第 3 回居宅・施設委員会研修会開催について (2/1・2/7) (小湊珠子 理事報告)</p>
-1-	<p>1. 日 時 平成 26 年 2 月 1 日 (土)・2 月 7 日 (金曜日) 14 : 00 ~ 17 : 00 2. 場 所 かごしま県民交流センター 3 階 大研修室 第 2</p>

3. 研修内容 「ケアプラン作成に関する研修会」

(内容)

宇治野副会長が講師となり、アセスメントからケアプランの作成までの考え方の理解と本人らしいケアプランの作成が出来ることを目的に開催。

インタビューにおいて得た情報をプランニングへ展開していく際、介護支援専門員の視点として図式的に示した書式に情報の落とし込み・分析、ニーズの把握の作業を行う。研修において、考え方を可視化することで理解が得られやすいと思われる。アンケート結果においても満足度の高い研修であり、今後も継続して研修会を開催していく。

2/1 開催

参加者 103名 (居宅：84名・施設：19名)

アンケート

回収 62名 (回収率 59.6%)

【大変良かった：41名 良かった：20名 回答なし：1名】

2/7 開催

参加者 154名 (居宅：110名・施設：20名、非会員：24名)

アンケート

回収 79名 (回収率 51.2%)

3. 協議事項

1) 第3回主任ケアマネ委員会研修会 (3/22) について

(阿久根平常務理事説明)

4. 日時 平成26年3月22日(土) 14:00~16:30
5. 場所 かごしま県民交流センター 3階 大研修室 第1
6. 研修内容 「事例研究から地域包括ケアシステム」

支援困難事例をもとに事例の真のニーズの把握と事例から見える地域の普遍的な課題を共有する事で主任介護支援専門員として地域包括ケアシステムの構築に向けての役割を明確にすることを目的に開催予定。

2) 平成26年度総会・講演会について (5/31)

(木場秀逸副会長説明)

1. 日時 平成26年5月31日(土) 14:00~17:30
2. 場所 鹿児島市市民文化ホール 4階市民ホール
3. 研修内容 「地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み」
「口腔機能について」

地域包括ケアシステムの構築にあたっての講師として、グループホームから地域課題を提言し、行政・医師会を動かした霧島市の事例について、黒岩氏へ講演を依頼し了解を得ている。

口腔機能への理解がについて認定歯科衛生士である上原氏へ講演を依頼し了解を得ている。

地域包括ケアシステムの構築にあたっては、地域包括支援センター職員へも理解を得てもらふ必要があり、鹿児島市地域包括支援センター職員へ参加を呼びかける事を協議する。

3) 多職種連携のためのマニュアル作成事業について

(宇治野由美子副会長説明)

鹿児島県医師会地域医療課より、在宅医療体制構築に向け、「在宅医療提供体制推進事業」の実施にあたり、介護支援専門員協会より構成員を推薦するように依頼があった。

構成員については、作業部会を設置し多職種連携マニュアルとそれを使用した事例集、成果報告を作成する事となっている。

介護支援専門員協会より、医療との連携など実践的に行っている小湊珠代理事を構成員として推薦する事で全会一致する。

4) 大勝洋祐会長の勇退による会長の公募について

(木場秀逸副会長説明)

大勝洋祐会長が今期をもって勇退することとなり、介護支援専門員協会会長をホームページにて公募を行う事で決定する。

4. その他


- 1) 会員数について 現時点で 422 名の会員数
(前年 447 名 25 名減 新規会員 77 名)
- 3) 次回理事会日程 平成 26 年 4 月 28 日開催予定

以上をもって、協議が終了したので午後 7 時 00 分、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

平成 26 年 4 月 28 日

理事 木場秀逸 

理事 宇治野由美子 

理事 新地一浩 